

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 県民総参加スポーツ大会推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2621)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,600 千円 (前年度予算額： 5,705 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,705	0	0	0	0	0	0	0	5,705
要求額	5,600	0	0	0	0	0	0	0	5,600
決定額	5,600	0	0	0	0	0	0	0	5,600

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県民がスポーツを通じて生涯の健康と生きがいを得ることができるよう、県民総参加・地域密着型のスポーツ大会を支援する。

(2) 事業内容

第14回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会

- ・開催時期：令和6年10月13日(日) 予定
- ・開催場所：岐阜県庁～不二羽島文化センター折返し 2往復

(3) 県負担・補助率の考え方

郡市対抗駅伝大会 補助金（補助率：定額）

小学生から40歳代まで幅広い年代や性別を交えた選手が参加する地域密着型のスポーツ大会であり、地域スポーツの推進を掲げる県として、大会運営の支援は妥当。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,600	競技団体等への補助
合計	5,600	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第14、15条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 国・他県の状況

各県で同様の駅伝大会を例年開催している。

例) 愛知県 愛知県市町村対抗駅伝競走大会（例年12月上旬実施）

三重県 美し国三重市町対抗駅伝（例年2月下旬実施）

静岡県 静岡県市町対抗駅伝競走大会（例年12月上旬実施）

長野県 長野県縦断駅伝競走（例年11月下旬実施）

(3) 後年度の財政負担

現状の財政負担を継続していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

郡市対抗駅伝大会 主催：(一財)岐阜陸上競技協会 (公財)岐阜県スポーツ協会
事務局：(一財)岐阜陸上競技協会

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	県民総参加スポーツ大会推進事業費（郡市対抗駅伝）
補助事業者（団体）	（一財）岐阜陸上競技協会 （理由） ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会の主催者
補助事業の概要	（目的） 「生涯スポーツ社会」を実現するため、県民総参加・地域密着型のスポーツ大会を支援する。 （内容） ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会の大会運営補
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） 定額 （理由） 後援団体として総事業費の1／2程度を定額助成する。
補助効果	スポーツ精神の高揚と体力の向上が期待できる。
終期の設定	終期令和8年度 （理由） 清流の国ぎふスポーツ推進計画終期

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

県民が誰一人取り残されず、スポーツを通じて生涯の健康と生きがいを得ることができるよう、気軽に参加できる県民総参加型・地域密着型のスポーツイベントを支援し、令和8年度までにスポーツ実施率を65%以上にすることを旨とする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H20末)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① スポーツ実施率	43.3%	49.1%	65.0%	65.0%	65.0%	75.5%
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	0千円	0千円	5,705千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため大会中止。
	指標① 目標：45.0% 実績：33.8% 達成率：75.1%
令和3年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため大会中止。
	指標① 目標：45.0% 実績：46.2% 達成率：102.6%
令和4年度	3年振りの大会開催。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の郡市は参加を見合わせたが、県内30郡市のうち28チームが参加。
	指標① 目標：65.0% 実績：49.1% 達成率：75.5%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	年齢を問わず、県民のスポーツへの関心を高めることが、スポーツ実施率の向上につながるため、事業の必要性は高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	清流駅伝は、平成22年度の11チームの参加に比べ、令和4年度は28チームの参加と増加しており、事業の効果が現れている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	主催者である(一財)岐阜陸上競技協会が運営に関して、効率化を図り、チーム数や参加人数の増加に対応している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 スポーツ実施率の向上を図るため、さらに多くの県民が気軽に参加でき、スポーツの習慣化の契機となるような、県民総参加・地域密着型のスポーツ大会の支援に取り組むことが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「スポーツ立県・ぎふ」を掲げる県として、県民へのスポーツ機会の提供は継続すべき重要な施策である。県民が生涯を通じて健康で生きがいを得ることができるため、気軽に参加、応援する機会を提供し、スポーツの習慣化を図ることができるよう、様々な年代の方が参加可能な地域密着型のスポーツイベントを継続的に支援していく。</p>
--